

レインボーは～と通信

vol.2



富山のLGBTの子ども時代の話、聞いてみました！

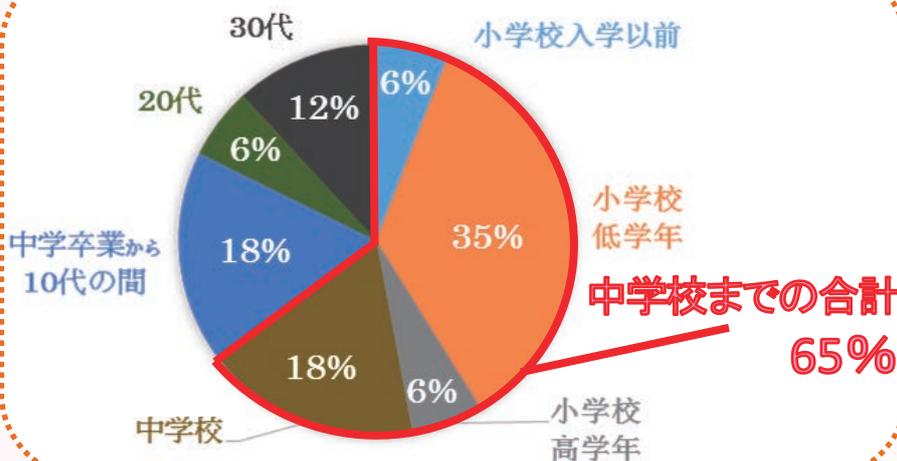
レインボーハート富山では、2016年5月から6月にかけて、富山県内の小中高校に通ったことのあるLGBT(性的マイノリティ)の方を対象とした、子どものころの学校生活に関するアンケートを行いました。ここでは、その一部を紹介します。

結果の詳細は団体のサイトに掲載しています。下記URLか右のQRコードからどうぞ。
<http://rhtoyama.wixsite.com/rainbowheart-toyama/blank-8>



● 6割以上が中学生までに自分のセクシュアリティを自覚

セクシュアリティをなんとなく自覚した時期



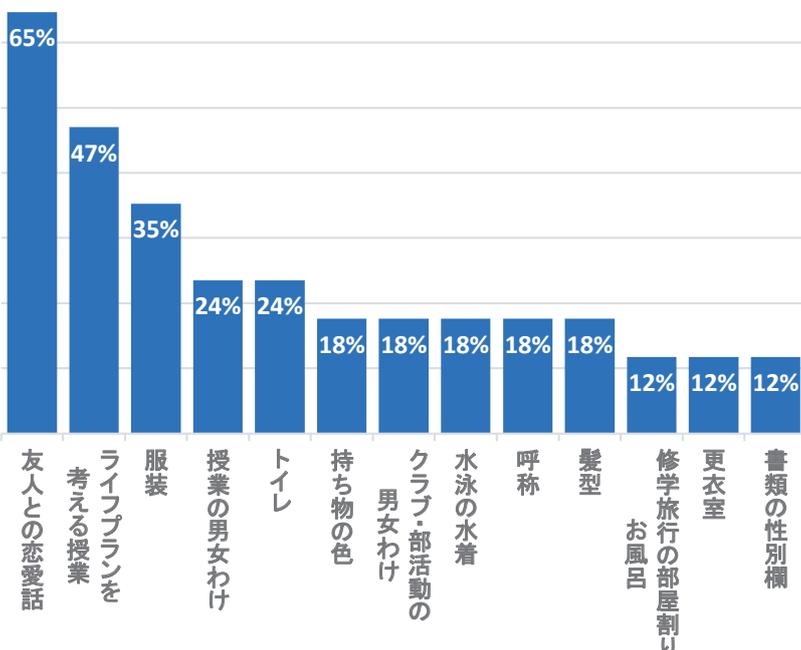
- ・ 小学校以前でも自覚をし始めている人がいる。
- ・ 過半数が義務教育期間ですでに自分のセクシュアリティを自覚している。

小中学校でも性の多様性を学べるといいね



● 服装・髪型・トイレ、友達との恋愛話、学校にはたくさんの困りごとが

学校で嫌だったこと



- ・ 友達との恋愛話、ライフプランを考える授業はどのセクシュアリティに関わらず嫌だと思ふ人が多い。
- ・ 服装、授業、トイレ、持ち物の色、更衣室を自分の望む性別のものを使えないことが嫌だと思ふ子どもたちがいる。

その他(自由記述)

・人に言っても理解はしてもらえない不安からいつも嘘をついていた。それは他人だけでなく自分自身にも嘘をついている人生だとわかって罪悪感しかなかった。

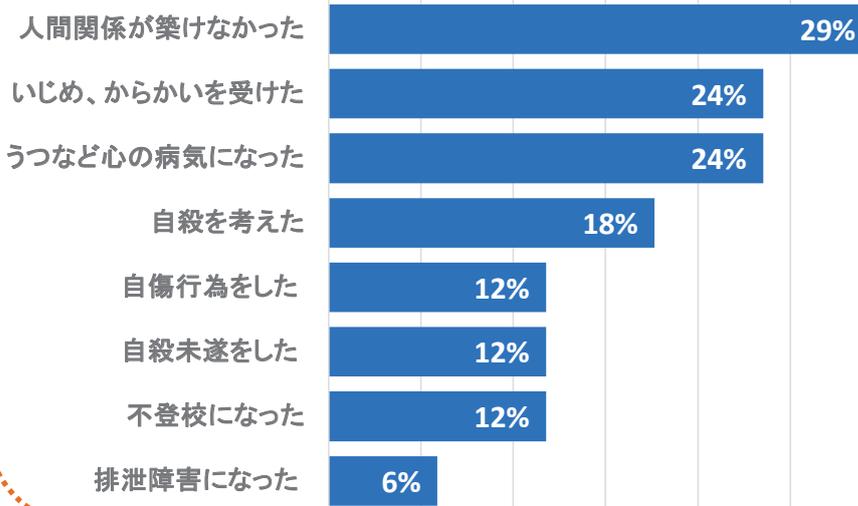
・男女分けの名簿があり、自分の名前の欄に丸を付けるだけでも嫌だった。

・バラエティ番組でゲイを笑い物にするようなキャラクターが出て、その話題が学校で出る事がとても嫌だった。

・年に一度の身体検査で、女の子の前で自分の体や下着姿を見られる事が嫌だった。その中には好きな女の子もいたのでコンプレックスを(恥を曝したような)気持ちになった。中学生の時は仮病で休み、後日他校へ行って個別で身体検査を受けていた。

● 自殺すら考えるつらさ 排泄障害などその後への影響も

セクシュアリティが原因で高校までに経験したこと



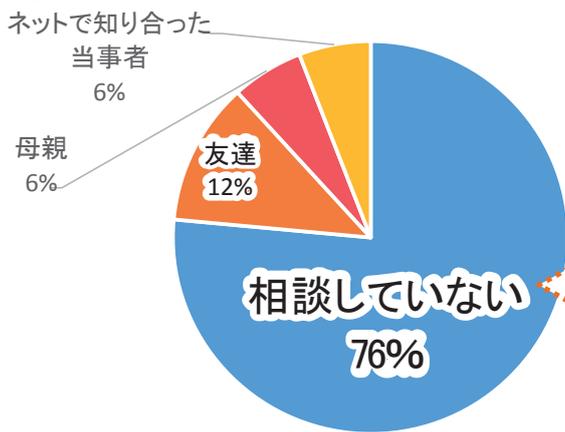
- 人間関係が築けなかった、いじめ、からかいを受けた、心の病気になったなどの回答が多かった。
- 自殺を考えた、自傷行為をした、自殺未遂をした、という深刻な状態に至った人もいます。

その他(自由記述)の内容

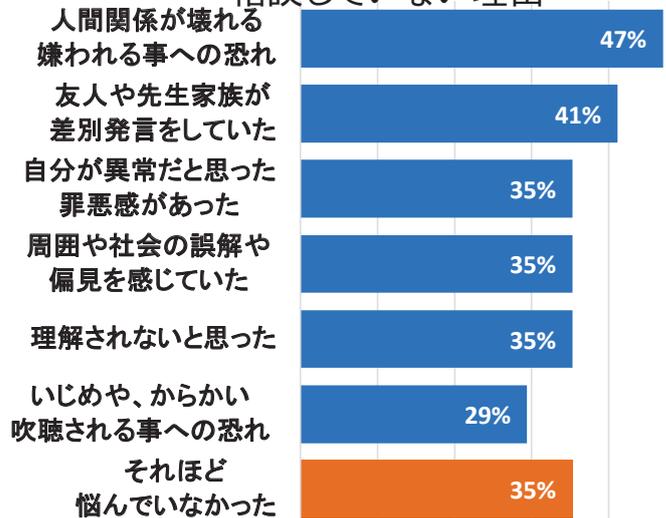
- 自認する性別のトイレに行けず、膀胱炎が慢性化して今もつらい。
- 自分に自信が持てなかった。ほかの人に自分はどうか見られているのかといった不安、うたぐりがあった。
- 好きな人に恋愛感情を悟られまいとして疎遠になってしまった。

● つらくても相談できない！

高校までの間に誰かに相談したか



相談していない理由



- 7割以上の方が、高校までの間には誰にも相談していない。
- 相談したという人も、友達、母親、ネット上の当事者に相談しており、学校の教職員に相談したという人はいない。

- 65%の人は悩みがあっても相談できていない。
- 相談できない理由として、人間関係が壊れる、周囲の人が差別発言をしていたと回答した人が多い。

みんなが理解して偏見がなくなれば相談しやすくなるかな？

その他(自由記述)の内容

- クラス替え初日に担任になった先生の何気ない差別発言と、それを聞き爆笑し盛り上がったクラスを見て幻滅した。
- 相談して事態が良くなるとは思えなかった。
- 自分でも何が問題なのかきちんと把握できていなかった。

誰もが自分らしく生きられる社会へ向かって

当団体のページへは検索、QRコード、URLからどうぞ！



レインボーハート富山



<http://rhtoyama.wixsite.com/rainbowheart-toyama>



@rainbow_toyama



<http://ameblo.jp/rainbowtoyama>



rainbowtoyama



発行 2016年 12月

製作 レインボーハート富山